

千葉県庁職員が選んだ 「大切な人に贈りたい“千葉県グルメギフト”」を大調査 ～スイーツ、食品、飲料など項目別にランキング化！～



千葉県広報事務局はこの度、「大切な人に贈りたい千葉県のグルメは？」をテーマに、千葉県庁職員を対象にアンケート調査を実施しました。

そこで今回はそのアンケート結果を投票者のコメントとともにランキング形式で発表します。



■ 調査概要

調査タイトル：「千葉県庁職員が選んだ大切な知人に贈りたい“千葉県のグルメ”」

調査内容：「スイーツ」「食料品（肉、魚介類、野菜、果物、加工品等）」「飲料品（お酒、果物ジュース、野菜ジュース等）」という3つの項目ごとに贈りたいと思う商品をヒアリング

調査対象：千葉県庁職員

調査方法：インターネット調査

調査期間：2020年12月2日～2020年12月9日

回答数：155名

次ページからいよいよランキングの発表に移ります！まずは「スイーツ」部門！
グルメギフトにははずせないこの分野で1位に輝くのは一体どこのスイーツなのでしょう？！

＜本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先＞

千葉県広報事務局（広報代理：フロンティアインターナショナル内） 担当：北川・金子
TEL：03-5778-4844 / FAX：03-3406-3565 / E-mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp
北川(070-2197-8790)、金子(070-2197-8841)

「スイーツ」部門

“グルメギフト”の王道、「スイーツ」。見ても食べても楽しめる正統派スイーツから歴史と伝統を紡いだ老舗銘店の和菓子まで、様々なジャンルのスイーツがノミネートされました。いよいよTOP3の発表です！

【第1位】 なごみの米屋 『ピーなっつ最中』 お取り寄せ可



スイーツ部門で第1位に輝いたのは、なごみの米屋の「ピーなっつ最中」。風味豊かなピーナッツの甘煮が練り込まれた餡が、愛らしい落花生の形の最中種に詰め込まれています。落花生の形をした可愛い箱はギフトにもぴったりで、大切な人に贈ればきっと喜ばれることでしょう。パッケージにはオリジナルキャラクターの「びーちゃん」が描かれており、まれに「四葉のクローバー」を持ったびーちゃんがいるのだとか。家族や友人と食べる際にはぜひ一緒に幸運のびーちゃんを探してみてくださいはいかがでしょうか？



60代男性

千葉県が全国に誇る農産物である落花生を使用し、味は落花生のうまみが凝縮され、甘さほどよし、食べやすい大きさ、値段も手頃であり、これまで多くの人に贈り大変喜ばれた。



50代男性

材料に落花生が使われているのはもちろん、最中やパッケージも落花生をかたどっていて、落花生で有名な千葉県らしい商品です。

<会社概要>

米屋株式会社
本社所在地：千葉県成田市上町500番地
HP：<https://www.nagomi-yoneya.co.jp>

【第2位】 オランダ家 『楽花生パイ』 お取り寄せ可



第2位に選ばれたのは2016年度に「日本ギフト大賞 千葉賞」を受賞したこともあるオランダ家の「楽花生パイ」。千葉県産の落花生を100%使用し、落花生の蜜煮入り特製餡を、発酵バターたっぷりのパイ生地で包んで香ばしく焼き上げており、餡のまろやかな甘さと、バターの風味が絶妙な味のハーモニーを奏でる逸品となっています。オランダ家からは他にも「ミルフィーユサンド」が票を獲得しました。



60代女性

「ザ・千葉スイーツ」。他県の方へのお土産にも、美味しいと大変喜ばれます。

<会社概要>

株式会社オランダ家
本社所在地：千葉県美浜区新港211番地
HP：<http://orandaya.net>

【第3位】 ル・パティシエ ヨコヤマ 『岩シュー』&『谷津ロール』



テレビ東京「テレビチャンピオンケーキ選手権」で、初の三連覇を達成した横山知之氏がパティシエを務める「ル・パティシエ ヨコヤマ」が第3位にランクイン。中でも特に人気が高かったのが「岩シュー」と「谷津ロール」。「岩シュー」はクッキー生地をのせて焼き上げられ、中にカスタードクリームがぎゅーりと詰まったシュークリーム（※賞味期限は販売当日）で、「谷津ロール」はこだわりの卵が使われたふわふわのスポンジに風味豊かな生クリームがサンドされたシンプルなロールケーキです。こちらは販売日よりお日持ち3日なので手土産に大人気。どちらもシェフ自慢の逸品です。



30代女性

岩シューは大きくサクサクのシュー生地にみっちりカスタードクリームが詰まっている。クリームもくどくなく、値段もお手頃で手土産にも喜ばれる。

<店舗情報>

ル・パティシエ ヨコヤマ 京成大久保店
住所：千葉県習志野市大久保1-1-34
定休日：毎週火曜日
営業期間：10時～18時30分
※水曜日のみ焼菓子と一部生菓子のみ販売
HP：<http://www.p-yokoyama.jp>

「食料品」部門

千葉県では肉、魚介、野菜、果物、加工品、あらゆるジャンルの食べ物が豊富に生産されており、関東のグルメ大国と言っても過言ではありません。そんなあらゆるジャンルの中から選ばれた珠玉の食料品TOP 3 やいかに！

【第1位】 恋する豚研究所

『しゃぶしゃぶセット』&『ハム、ベーコン、ソーセージセット』

お取り寄せ可



食料品部門で見事第1位に選ばれたのは恋する豚研究所の「しゃぶしゃぶセット」と「ハム、ベーコン、ソーセージセット」です。豚のエサや育て方に徹底的にこだわった同研究所の豚肉は他のブランド豚と比べて、くさみが少なく、脂に甘みがあるのが特徴で、ついついまた食べたくなってしまうおいしさです。

唯一の生産農場である在田農場では恋する豚に生きた乳酸菌や麹菌を多く含んだ発酵飼料をエサとして与え、豚の腸内の善玉菌を増やし、本来の免疫力を高めることで、健康的に育った質の良い豚肉を提供しています。



50代女性

冷蔵便で届けてくれる。甘みがあり、柔らかく脂身がおいしい。加工品も豚そのものの味を大切にしている。



40代女性

こだわりをもって育てられた豚肉で、脂身もあまくて、肉質も柔らかい。

<会社概要>

株式会社恋する豚研究所

本社所在地：千葉県香取市沢245番1

HP：<https://www.koisurubuta.com>

Yahoo!ショッピングURL：

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/koisurubuta>

【第2位】 『くじらのタレ』

お取り寄せ可



第2位に選ばれたのは「くじらのタレ」。千葉県南房総で江戸時代から伝わる鯨肉の食べ物で、鯨の肉を秘伝のタレに漬け込み天日干した、いわば「鯨ジャーキー」です。炙ってマヨネーズを付けるのが定番スタイルで、おつまみ、おやつ、おかず、何でも来いの万能な逸品となっています。「ハウダイ食品」、「外房捕鯨」をはじめ、複数の企業で製造・販売されています。



40代男性

南房総でしか食べられない、肉厚の美味しい鯨肉。

【第3位】 『ゆで落花生』

お取り寄せ可



第3位には落花生の名産地ならではの逸品、落花生を塩茹でした「ゆで落花生」が選ばれました。

一度食べたなら病みつきになる味で、おやつやお酒のつまみとして千葉県の老若男女に幅広く愛されている千葉のソウルフード。「マルハチ」や「フクヤ商店」など様々な企業から販売されており、以前は収穫したての短期間しか食べられない地元グルメでしたが、レトルトタイプや冷凍タイプの商品が販売されてから1年中楽しめるようになってきました。八街市内の小中学校では、年に1度、生の落花生を調理したゆで落花生が給食に出て、子どもたちにも人気のメニューになっています。



30代男性

通常の落花生のイメージを破る大粒の落花生。レトルトパックも販売されていてプレゼントにも最適。

「飲料品」部門

飲料品部門では、あえてジャンルを絞らず、幅広く回答を募集。ランキング上位に食い込むのはお酒か、はたまたジュースか。千葉県を知り尽くした県庁職員が本気でおすすめする千葉の飲み物はこれだ！

【第1位】 八街生姜ジンジャーエール企業組合 『八街生姜ジンジャーエール』

お取り寄せ可



平成24年に八街商工会議所飲食業部会によって開発された地元名産のショウガを使用した炭酸飲料「八街生姜ジンジャーエール」が堂々の1位を獲得！八街市は全国有数の生姜の産地で、八街産生姜のおいしさを引き出したジンジャーエールは、口いっぱいにはろがる生姜のフレッシュさと、さわやかで自然な甘味が好評の「大人の清涼飲料水」。見た目のお洒落さを褒めるコメントやお酒を割ることを薦めるコメントがみられました。今年の11月からはサクマ製菓とのコラボで、缶入りドロップも販売を開始しました。



50代女性

八街市産のしょうがが大量に入ったツウ好みのジンジャーエール。ビールと混ぜてシャンディガブにしてもおすすめ。



20代男性

八街産の生姜を使用し、ほかにはない辛味の強いジンジャーエールで美味しい。また、ビンのパッケージデザインがおしゃれで高級感がある。

<販売元情報>

八街生姜ジンジャーエール企業組合
住所：千葉県八街市八街ほ224番地
(八街商工会議所内)
HP：https://www.8cci.jp/ginger.html

【第2位】 藤平酒造 『福祝』

お取り寄せ可



第2位は藤平酒造の「福祝」がランクイン。やわらかな香りとお酒が感じられつつも後味はすっきりとした辛口です。千葉県で唯一、「平成の名水百選」に選ばれた地元・久留里の名水で仕込まれたこのお酒は、小規模生産による丁寧な酒造りが売りの「藤平酒造」のごだわりが詰まった逸品です。藤平酒造は享保元年に創業し、久留里の地で代々酒造りを営んできました。「福祝」を考案したのは先代の藤平富雄氏。現在は亡き先代の想いを受け継ぎ、三兄弟が中心となって切り盛りしています。



30代男性

余韻が美味しいお酒。台風被害からの復興にも期待。

<会社概要>

藤平酒造合資会社
本社所在地：千葉県君津市久留里市場147
HP：https://fukuiwai.com

【第3位】 鍋店 『不動』

お取り寄せ可



第3位に選ばれたのは酒蔵・鍋店の「不動」。第2位にランクインした「福祝」に負けじと票を集めました。「全国新酒鑑評会」や「ワイングラスでおいしい日本酒アワード」でも受賞を果たしており、フルーティーな味わいで、飲み口は軽く、すっきりとキレのある日本酒です。元禄2年創業の鍋店では1997年に杜氏制を廃止し、麴やもろみ造り、火入れ、貯蔵、瓶詰めに至るまで、全ての工程を自社スタッフで行うほど、品質管理において徹底的なごだわりをもっています。



30代女性

普段日本酒を飲まない若い人でも飲みやすく、甘くて薫り高い日本酒です。

<店舗情報>

鍋店株式会社
住所：千葉県成田市本町 338 番地
HP：https://www.nabedana.co.jp

惜しくもランキング圏外となった事務局おすすめのグルメギフトも発表！

今回のアンケートでは我々も驚くほど多数のバリエーションに富んだ回答が集まりました！TOP3のみの発表に留めるのはなんとももったいないので、今回は特別に、惜しくも上位ランクインには至らなかったものの、事務局スタッフがどうしても気になった回答をピックアップして、ご紹介いたします！

【スイーツ】 お取り寄せ可 見波亭 『のこぎり山バウムクーヘン』



まずご紹介するのは10年連続でモンドセレクション金賞を受賞した見波亭の看板メニュー「のこぎり山バウムクーヘン」。おいしさはもちろんのこと、名前の通り、鋸山を象ったギザギザとした形がとても目を引きまします。ホワイトチョコレートをコーティングした冬季限定「ホワイトバウム」も注目の逸品。

【スイーツ】 お取り寄せ可 HOME OF MOTHERS 『イタリアンジェラート』



旭市にある宇畑牧場直営のイタリアンジェラート専門店。さっぱりとしながらもコクのある定番のパニラをはじめ、ベリー系やチョコレート系など、バリエーション豊富に取り揃えています。ジェラート以外にも、ジェラートケーキやプリンも販売しています。



20代女性

美味しくて商品名にもインパクトがある。



50代男性

味もそれぞれのフレーバーで特徴があり、総じてさっぱりしつつも濃厚な本格派ジェラート。

<店舗情報>

見波亭本店
住所：千葉県富津市金谷2288ザ・フィッシュ内
定休日：年中無休
営業時間：9時30分～18時
HP：<https://www.minamitei.jp>

<店舗情報>

HOME OF MOTHERS (ホームオブマザーズ)
住所：千葉県旭市井戸野3420-3
定休日：毎週月曜日
営業時間：10時～18時
HP：<https://www.home-of-mothers.jp>

【スイーツ】 お取り寄せ可 御菓子司角八本店 『みかん大福・いちご大福』



みかんといちごが丸ごと入っており、ジューシーな食べごたえに一度食べたらハマってしまう御菓子司角八本店の「みかん大福」と「いちご大福」。いちご大福は大粒のあまおうを、白餡ときめ細やかな餅がふっくらと包み込んでおり、みかん大福はみかんの果汁と白餡、餅生地が相まって最高のみずみずしさを堪能できます。



30代男性

中に入っているいちごが大粒で甘く、白餡との相性がバツグン！！

<販売元情報>

御菓子司角八本店
住所：千葉県長生郡一宮町一宮3012
HP：<http://www.kadohachi.co.jp>

【食料品】 お取り寄せ可 習志野商工会議所 『習志野ソーセージ』



約100年前にドイツ式ソーセージの製造法が習志野市内で伝えられたという歴史的事実とレシピを元に、習志野商工会議所がご当地グルメとして育て上げた「習志野ソーセージ」。

発色剤・リン酸塩・保存料を使用しないオーガニックフードです。



30代男性

第一次世界大戦中、ドイツ人捕虜から教わったレシピを再現したソーセージで、歴史とストーリーがある逸品です。

<販売元情報>

習志野商工会議所
住所：千葉県習志野市津田沼4-11-14
HP：
https://www.narashino-cci.or.jp/narashino_sausage.html

【食料品】 お取り寄せ可
郷土料理 『いわしのゴマ漬け』



「いわしのゴマ漬け」はいわしの産地・九十九里で、長年、親しまれてきた伝統料理です。普段の食卓からお土産まで幅広いシーンで使えるため、たくさんの千葉県民に愛されています。過去に「秘密のケンミンショー」で取り上げられたこともあります。カネヨン水産の「九十九里いわしのごま漬」は千葉ブランド水産物に認定されています。

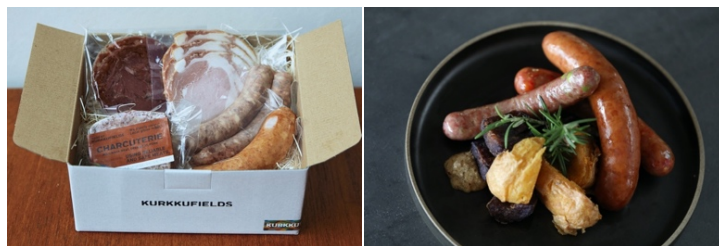


千葉県らしい逸品で、とても美味しい。

<会社概要>

有限会社カネヨン水産
住所：千葉県山武郡九十九里町片貝3772番地
HP：http://kaneyon.co.jp

【食料品】 お取り寄せ可
KURKKU FIELDS 『シャルキュトリー』



音楽プロデューサーの小林武史氏が手がけた先進的なサステナブルファーム&パーク「KURKKU FIELDS」は自治体や地元の駆除隊と連携し、作物や環境を守るために駆除せざるを得なかったジビエをハムやソーセージなどに加工し、販売しています。臭みがなく、赤ワインやクラフトビールなどとも相性バッチリ。



イノシシや鹿など近隣で捕まえたジビエが現地の処理場・加工場でハムやソーセージに加工され、ジビエの印象を変える美味しさに。イノシシソーセージは絶品。ぜひご賞味いただきたいです。

<会社概要>

KURKKU FIELDS/クルックフィールズ
住所：千葉県木更津市矢那2503
定休日：祝日以外の火曜日、水曜日
営業時間：10時～17時（土日祝含む全施設各店舗の営業時間。ダイニングのみ11時オープン。16時ラストオーダーとなります）
HP：https://kurkkufields.jp

【飲料品】 お取り寄せ可
銚子ビール 犬吠醸造所&Taps 『銚子エール』



「銚子の活性化に貢献したい!」、「銚子が誇れるクラフトビール（地ビール）を!」。そんな思いで2017年6月に誕生した、魚に合うご当地ビール「銚子エール」は琥珀色で芳醇な香りと辛口のキレ感が特徴です。開発者の佐久間さんは魚とビールの相性を確かめながら試行錯誤を繰り返し、この味にたどり着きました。ロゴマークは、銚子の犬吠埼灯台から昇る日本一早い初日の出がモチーフにされています。



芳醇な香りの辛口のエールビール。瓶ビールもあるが、犬吠テラスで注ぎたてを飲むことができます。太平洋を見ながら飲むビールは格別。

<店舗情報>

銚子ビール 犬吠醸造所 & Taps
住所：銚子市犬吠埼9575-2
定休日：毎週月・火曜日（祝日の場合は営業）
営業期間：11時～17時

【飲料品】 お取り寄せ可
せきね農苑 『RADICEのトマトジュース』



第10回野菜ソムリエサミットの購入部門第3位、食味部門第5位を受賞したせきね農苑の石播きトマトを原料にした加工品シリーズである「RADICE（ラディーチェ）」の一角を担うのがこちらのトマトジュースです。真っ赤に樹上完熟させて収穫した糖度8度以上のフルーツトマトだけを厳選して絞った「エクセレントストレートトマトジュース」や石播きトマトにフルーツトマトをブレンドした甘みの強い「プレミアム7.5ストレートトマトジュース」といったラインナップがあります。



完熟したトマトが非常に甘く濃厚な味わい。

<会社概要>

株式会社せきね農苑
住所：千葉県旭市大塚原107-1
HP：https://www.sekine-nouen.com/radice

各部門のTOP5

【スイーツ部門TOP5】

〈第1位〉
なごみの米屋
『ピーなっつ最中』



〈第2位〉
オランダ家
『楽花生パイ』



〈第3位〉
ル・パティシエ ヨコヤマ
『谷津ロール』&『岩シュー』



〈第4位〉
見波亭
『鋸山バウムクーヘン』



〈第5位〉
角八本店
『大福(みかん・いちご)』



【食料品部門TOP5】

〈第1位〉
恋する豚研究所
『豚肉加工品セット』



〈第2位〉
『くじらのタレ』



〈第3位〉
『ゆで落花生』



〈第4位〉
ぴん太郎
『黒潮セット』



〈第5位〉
銚子電鉄
『ぬれ煎餅』



【飲料品部門TOP5】

〈第1位〉
八街商工会議所
『八街生姜ジンジャーエール』



〈第2位〉
藤平酒造
『福祝』



〈第3位〉
鍋店
『不動』



〈第4位〉
梅一輪酒造
『梅一輪』



〈第5位〉
吉野酒造
『腰古井』



～番外編～ 「千葉の2大ソルフード」



皆さんはご存知でしょうか？

何故か千葉県民に長年愛され続ける2つの「ソルフード」を。

1つ目は皆さんも一度は飲んだことがあるかもしれない「ジョージア マックスコーヒー」。「マックス」という名にふさわしいほど最高に甘いこのコーヒー。甘さの秘密は乳分として100%使用されている練乳。糖分が仕事や勉強で疲れた身体と頭に染み渡り、徹夜で働くビジネスマン、入試を控える受験生の強い味方になっています。

実はこのマックスコーヒー、発売当初はコカ・コーラ社の製品販売や物流などを担う利根コカ・コーラボトリングのプライベートブランドとして販売されていました。千葉県を含む一部地域で限定販売されていたことや、木更津キャッツアイなどのドラマや映画、漫画で千葉県の象徴として扱われることがあったため、「マックスコーヒー＝千葉県」というイメージが定着したとされています。

そして、2つ目はターバンを巻いた青い目のインド人風の人形が目を引く「アラビヤン焼そば」。1967年にサンヨー食品から全国販売されましたが、千葉県と茨城県の一部地域での売上が安定していたため、1980年～2008年頃まで千葉県と茨城県を中心に販売されていました。「不思議な位おいしく出来ます」という“不思議”なキャッチコピーで千葉県民の心をわしづかみにしてきたアラビヤン焼そば。お近くのお店で見つけた方は是非この機会に食べてみてはいかがでしょうか？

＜本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先＞

千葉県広報事務局 (広報代理：フロンティアインターナショナル内) 担当：北川・金子
TEL：03-5778-4844 / FAX：03-3406-3565 / E-mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp
北川(070-2197-8790)、金子(070-2197-8841)